



2012年 2月 7日
独立行政法人海洋研究開発機構

HPCI戦略プログラム 戦略分野3 地震津波課題ワークショップ開催概要

独立行政法人海洋研究開発機構（理事長 加藤 康宏）は、文部科学省より「HPCI戦略プログラム」（※）における分野3「防災・減災に資する地球変動予測」を実施する戦略機関の決定を受け、今年度より5ヵ年計画で研究開発を実施しています。

本事業は、京速コンピュータ「京」とこれを中核とするHPCIの性能を最大限発揮させ、戦略目標のひとつである「次世代型地震ハザードマップの基盤構築と津波警報の高精度化」の実現に向け、世界最高水準の研究成果を創出することを目的としています。

今回のワークショップでは、今年、本格運用がスタートする京速コンピュータ「京」を用いて実施する、シミュレーション研究ならびに防災研究の進捗状況を報告するとともに、今後の展望に関する議論を行います。

1. 日時：平成24年2月27日（月）10：00～17：00（9：30開場）
2. 場所：計算機構セミナー室（神戸市中央区港島南町7-1-26）
3. 入場：事前登録制（定員200名）
以下のURLより登録願います。
<http://www.jamstec.go.jp/hpci-sp/info/120227/120227.html>
（定員になり次第、登録を締め切らせていただきます。
なお、昼食は会場近くの食堂を利用することが可能です）
4. 主催：独立行政法人海洋研究開発機構
5. 後援：計算科学研究機構（予定）

※「HPCI戦略プログラム」

（1）京速コンピュータ「京」を中核としたHPCI（革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ）を最大限活用して画期的な成果を創出、（2）高度な計算科学技術環境を使いこなせる人材の創出、（3）最先端コンピューティング研究教育拠点の形成を目指し、社会的・学術的に大きなブレークスルーが期待できる分野（戦略分野）ごとにHPCIを用いた研究開発を実施するとともに、計算科学技術推進体制を構築するプロジェクトです（文部科学省が平成23年度～平成27年度の5ヵ年計画で実施）。

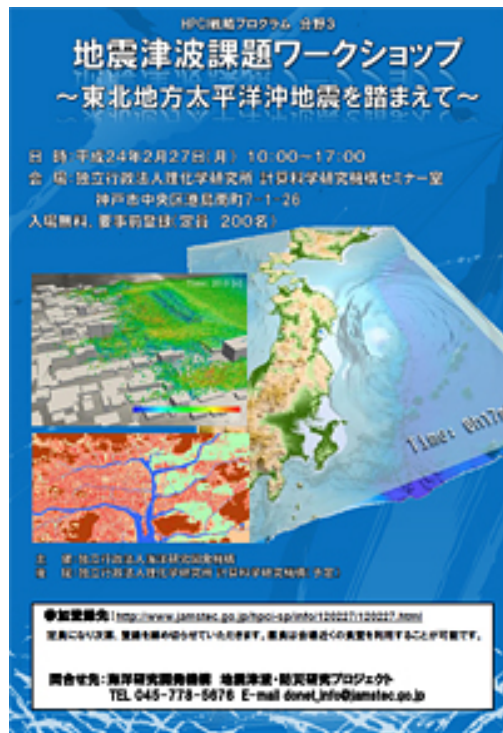
独立行政法人海洋研究開発機構を研究代表機関とする戦略分野3「防災・減災に資する地球変動予測」では、「地球温暖化時の台風の動向の全球的予測と集中豪雨の予測実証、および次世代型ハザードマップの基盤構築と津波警報の高精度化」を目標としており、地震津波防災分野では「地震の予測精度の高度化に関する研究」、「津波警報の高精度化に関する研究」および「都市全域の地震等自然災害シミュレーションに関する研究」を実施します。

HPCI戦略プログラム 戦略分野3
地震津波課題ワークショップ

- 1.日時：平成24年2月27日（月）10：30～17：00（9:30開場）
- 2.場所：独立行政法人理化学研究所計算科学研究機構セミナー室
（神戸市中央区港島南町7－1－26）
- 3.主催：海洋研究開発機構
- 4.後援：計算科学研究機構（仮）

プ ロ グ ラ ム		
9：30	開場・受付	
10：00-10：10	開会挨拶	文部科学省情報課 計算科学技術推進室長 林孝浩
10：10-10：20	地震津波課題の取り組みについて	海洋研究開発機構地震津波・防災研究プロジェクト 金田義行
10：20-10：35	東日本大震災を踏まえた津波予測の課題	関西大学社会安全学部 高橋智幸
10：35-10：40	質疑応答	
10：40-10：55	大規模シミュレーションで地震津波災害軽減に挑む	東京大学大学院情報学環 古村孝志
10：55-11：10	高分解能地球深部構造・地下構造モデルの構築に向けた大規模シミュレーション	海洋研究開発機構地球内部ダイナミクス領域 坪井誠司
11：10-11：25	地震津波波動伝播の二つの可視化手法:VR投入可視化と監視カメラ法	神戸大学大学院工学研究科 陰山聡
11：25-11：55	プレート境界固着すべりのデータ同化と地震発生シナリオ	海洋研究開発機構地震津波・防災研究プロジェクト 堀高峰

11 : 55-12 : 05	質疑応答	
12 : 05-12 : 25	津波の予測精度高度化についての概要・釜石湾口防波堤の効果と被災メカニズムの検討	港湾空港技術研究所津波防災研究センター 有川太郎
12 : 25-12 : 45	SPHとDEMによる津波と構造物の連成シミュレーション	海洋研究開発機構地球内部ダイナミクス領域 阪口秀、西浦泰介
12 : 55-12 : 55	質疑応答	
13 : 00-14 : 00	休憩	
14 : 00-14 : 15	構造・都市シミュレーションの概要	東京大学地震研究所 堀宗朗
14 : 15-14 : 30	地盤-構造連成を考慮した大規模構造物の地震応答解析	日本大学工学部情報工学科 宮村倫司
14 : 30-14 : 45	都市の地震動-津波と避難のシミュレーション	東京大学地震研究所 市村強
14 : 45-14 : 55	質疑応答	
14 : 55-15 : 15	休憩	
15 : 15-16 : 45	今後の課題と予測研究の展望：南海トラフ巨大地震・津波減災への挑戦	国際高等研究所 尾池和夫 東京大学地震研究所 堀宗朗 兵庫県防災計画課 村田昌彦 Oregon State University Harry Yeh
16 : 50-17 : 00	閉会挨拶	海洋研究開発機構横浜研究所長 今村努



[リーフレット\[PDF: 1.29MB\]](#)

お問い合わせ先:

独立行政法人海洋研究開発機構

(本内容について)

地震津波・防災研究プロジェクト 研究企画グループ グループリーダー

中山 敦志

(報道担当)

経営企画室 報道室 奥津 光